

特 別 研 究

到達目標

大学院で学んだ科目の成果をふまえ、自己の研究テーマについて教員と論議を行い、研究計画書を作成する。そして、倫理的な配慮のもと根拠に基づいた研究方法・成果をふまえて論文を完成し発表する一連の研究プロセスを修得する。

特別研究（研究計画立案）

- ・課題意識を明確にし、研究テーマを設定できる。
- ・研究テーマに関する文献レビューし、研究課題を位置づけられる。
- ・研究枠組みおよび概念枠組みを明確にできる。
- ・研究テーマに適した研究方法を選択できる。
- ・配慮すべき倫理的な事項を列挙できる。
- ・研究計画書を決められた形式で作成できる。

特別研究（実験・調査）

- ・研究計画書にそって、具体的に実験・調査を設定できる。
- ・実験・調査を実際に実施する中で、必要な技術を修得する。
- ・研究の信頼性、妥当性を確保するための事項を理解している。
- ・当該実験・調査の限界と課題を理解している。
- ・実験・調査のデータ分析が適切に行える。
- ・実験・調査から得られた結果を検討し、新しい知見を抽出できる。

特別研究（ゼミナール）

- ・研究課題を分かり易く説明できる。
- ・研究の問題点を他者と議論し、深められる。
- ・ゼミでの他者の意見を参考に、研究方法等の改善ができる。

特別研究（論文作成）

- ・基本的な論文構成（緒言・研究方法・結果・考察・結語・引用文献）に従って、論文を作成できる。
- ・研究内容を分かり易く、正確に記述できる。
- ・研究の論理を明確に記述できる。
- ・倫理上の配慮した記述ができる。

特別研究（研究発表）

- ・発表要旨・抄録を作成できる。
- ・研究内容を分かり易く表現したスライドおよび発表原稿を作成できる。
- ・発表時間内で分かり易く研究内容を説明できる。
- ・質問の意図を理解しようと努める。
- ・質問に対して、適切な回答をするように努める。

課 題 研 究

到達目標

医療の場を含む人々の健康的な生活の場で生じる諸々の現象をふまえて、主専攻と「看護学の発展」の視座から課題を探求し、教員の指導のもとに論文を作成する。

課題研究（研究計画立案） 2単位

- ・ 課題意識を明確にし、研究テーマを設定できる
- ・ テーマに関する文献検索し、研究課題を位置づけられる
- ・ 研究テーマに適した研究方法を選択できる
- ・ 配慮すべき倫理的な事項を列挙できる
- ・ 研究計画書を決められた形式で作成できる

課題研究（調査・ゼミナール） 2単位

- ・ 研究計画書にそって具体的の実験・調査を設定できる
- ・ 研究の信頼性・妥当性を確保するための事項を理解している
- ・ 実験・調査のデータ分析が適切に行える
- ・ 研究の問題・課題を他者と議論し深められる
- ・ ゼミナールで他者の意見を参考に研究方法などの改善ができる

課題研究（論文作成・発表） 2単位

- ・ 基本的な論文構成（緒言、研究方法、結果、考察、結語、引用文献）に従って論文を作成できる
- ・ 論理的で一貫性がある論文を作成できる
- ・ 倫理的に配慮した記述ができる
- ・ 発表要旨や抄録を作成できる
- ・ 研究内容をわかりやすく発表できる
- ・ 質問に対して適切な回答をすることができる

授業科目：健康情報論（2単位）

到達目標：健康に関わる情報の特性を理解する。

健康支援に必要な保健・医療の IT 化を理解する。

保健・医療における IT 化の状況を理解する。

健康支援のための保健・医療情報の活用の視点を理解する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.6.17	月	7	健康に関わる情報の特性	栗原幸男	看護学科棟保健指導室（2階）
2・3	25.6.24	〃	6・7	健康支援に必要な保健・医療の IT 化	〃	
4・5	25.7.01	〃	〃	保健・医療における IT 化の変遷	〃	
6・7	25.7.08	〃	〃	保健・医療データの標準化	〃	
8・9	25.7.22	〃	〃	医療データ（電子カルテ）と健診データ	〃	
10・11	25.7.29	〃	〃	広域災害と保健医療情報	〃	
12・13	25.8.05	〃	〃	健康支援の情報提供のあり方	〃	
14・15	25.9.02	〃	〃	保健・医療における AI 活用の可能性と課題	〃	

参考図書：

1. Kathryn J. Hannah, Marion J. Ball and Margaret J.A. Edwards. Health Informatics: Introduction to Nursing Informatics. Springer.
2. 日本医療情報学会医療情報技師部会. 医療情報 医療情報システム編. 篠原出版新社.
3. 中野正孝ほか. 系統看護学講座 基礎 8. 情報科学. 医学書院.
4. 西垣 克監訳. 看護とコンピュータ. 医歯薬出版.

授業科目：保健統計論（2単位）

- 学習目標：1) 看護研究を実際に行って収集されたデータの特性について学習する。
- 2) 母集団から抽出された標本データから母集団の特性を推定するために、平均値等の集団の特性値及びその検定手法、比率の検定手法を理解する。
- 3) 看護研究でしばしば用いられる調査票を用いた手法について、社会調査論の立場から実施手技について理解し、得られたデータの収集・解析・評価の実際を学習する。
- 4) 人間の健康や障害に係わる事象と影響する要因との因果関係を推定するための統計手法（二次クロス・三次クロス・多変量解析）を実際に SPSS、Excel 統計等の統計ソフトを用いて学習する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	25.10.7	月	6・7	SPSS の使い方	吾妻 健	地域看護学講座・地域看護学 共同研究室（4階）
3・4	10.21	〃	〃	保健統計学①データの取扱い	〃	
5・6	10.28	〃	〃	保健統計学②比率の比較検定	〃	
7・8	11.11	〃	〃	保健統計学③平均値の比較検定	〃	
9・10	11.18	〃	〃	基礎統計学，2群間の比較	高尾俊弘	
11・12	11.25	〃	〃	分散分析と多重比較	〃	
13・14	12.02	〃	〃	独立性の検定	〃	
15・16	12.09	〃	6	多変量解析	〃	

授業科目：健康環境論（2単位）

- 学習目標：1) 人間の健康に影響を与える要因に対する基本的視座を学び、疾病や障害の発生するメカニズムを理解する。
- 2) 健康要因の中でも特に内部環境（ホメオスターシス）の破綻が人間の健康に与える影響を学習する。
- 3) 環境ホルモンの人体への曝露に関する影響を学び、疾病や異常を引き起こす許容限界の考え方を理解する。
- 4) 人間の健康に影響を与える要因のうち、ストレスのマネジメント、リスクコミュニケーションの実際を数名のグループに分かれて検討し、各グループの考えをプレゼンテーションする。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.12.9	月	7	ホメオスターシスと健康	高尾俊弘	地域看護学講座・地域看護学 共同研究室（4階）
2	25.12.16	〃	6・7	グループワーク	〃	
3	26.1.20	〃	〃	グループワークとプレゼンテーション	〃	
4	1.27	〃	〃	環境ホルモンと健康	〃	
5	2.3	〃	〃	グループワーク	〃	
6	2.10	〃	〃	グループワークとプレゼンテーション	〃	
7	2.17	〃	〃	ストレスと健康	〃	
8	2.24	〃	〃	プレゼンテーションおよびまとめ	〃	

授業科目：看護研究論（2単位）

学習目標：看護における研究の意義や役割を理解すると共に、他の研究論文などのクリエイティブを通して、各自の研究に必要な研究枠組みや研究方法、研究計画から論文作成までの研究概要について理解ができる。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	4月15日	月	6	看護研究の意義・役割	坂本	基礎看護学（3階）・精神看護学（6階） いずれかの共同研究室
2	4月15日	〃	7	看護研究の動向と倫理	坂本	
3	4月22日	〃	6	研究課題と文献検討	坂本	
4	4月22日	〃	7	研究デザイン・研究方法概要	坂本	
5	5月13日	〃	6	量的研究法(1)	野村	
6	5月13日	〃	7	量的研究法(2)	野村	
7	5月20日	〃	6	質的研究法(1)	濱田	
8	5月20日	〃	7	質的研究法(2)	濱田	
9	5月27日	〃	6	英文看護論文査読 量的研究法(1)	吾妻・野村	
10	5月27日	〃	7	英文看護論文査読 量的研究法(2)	吾妻	
11	6月3日	〃	6	英文看護論文査読 質的研究法(1)	吾妻・野村	
12	6月3日	〃	7	英文看護論文査読 質的研究法(2)	吾妻	
13	6月10日	〃	6	研究計画プレゼンテーション(1)	坂本・野村	
14	6月10日	〃	7	研究計画プレゼンテーション(2)	坂本・野村	
15	6月17日	〃	6	研究計画プレゼンテーション(3)	坂本・野村	

授業科目：看護理論（2単位）

到達目標

1. 看護学における看護理論の位置づけを学び、これまでに開発された諸理論について理解する。
2. 看護実践の中で応用可能な中範囲理論と基礎となる広範囲理論の概念について理解し、活用法について説明できる。
3. 学生の看護実践の具体的現象を取り上げ、理論を用いて説明できる。

回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	25.6.06	木	6・7	私と看護理論との出会い・自己紹介 看護理論の発展 ① 看護理論入門：歴史・用語・分析	高橋 永子	保健指導室
3・4	6.13	〃	6・7	② 看護における理論の重要性 ③ 理論開発の過程 看護理論 ① 看護理論の分類 ② 看護理論の種類 ③ 看護理論の実践への適応 (演習計画の説明)	高橋 永子 山脇 京子	
5・6	6.20	〃	6・7	① 看護理論の紹介（1） ② 看護理論の紹介（2） ③ 看護理論の紹介（3）	高橋 永子 山脇 京子 寺下憲一郎	
7・8	6.27	〃 〃	6・7	看護理論の理解（1）discussion 看護理論の理解（2）discussion	高橋 永子 山脇 京子 寺下憲一郎	
9・10	7.04	〃 〃	6・7	看護理論の理解（1）discussion 看護理論の理解（2）discussion	〃	
11・12	7.11	〃 〃	6・7	看護実践の理論への適用（1） presentation、discussion 看護実践の理論への適用（2） presentation、discussion	〃	
13・14	7.18	〃 〃	6・7	看護実践の理論への適用（3） presentation、discussion 看護実践の理論への適用（4） presentation、discussion	〃	
15	7.25	〃	6	総括	〃	

使用教科書

1. Ann Marriner-Tomey 都留伸子監訳：Nursing Theorists And Their Work
看護理論家とその業績第3版、医学書院、2004.

参考書

1. Julia B .George 南裕子他訳：NURSING THEORIES TheBase for
Professional Nursing Practice 看護理論集 日本看護協会出版会、2003.

授業科目：看護倫理（2単位）

学習目標：倫理の概念、その文化的背景を概観し、看護者の日常生活と実践活動に関する各種倫理規定を理解し、実践の場で遭遇する倫理的ジレンマの抽出及びそれらに対応できる知識を修得する。

講義回数	月日(曜)	時間	テーマ	担当教員	場所
1, 2	4/12 (金)	6, 7	1. 看護倫理の歴史的背景 2. 看護・看護者職者の倫理 3. 生き方にみる倫理	片岡万里	6階 老年 看護 学共 同研 究室
3, 4	4/26 (金)	6, 7	1. 倫理—徳—の文化的背景 2. グローバル社会における倫理的諸問題	片岡万里	
5, 6	5/10 (金)	6, 7	1. 生命と尊厳、アドボカシー、パターンリズム 2. 倫理的感受性	片岡万里	
7, 8	5/17 (金)	6, 7	1. 課題1：発表 2. 医の倫理規定 3. 環境と倫理	〃	
9, 10	5/24 (金)	6, 7	1. 日本看護協会と ICN の倫理規定 ①公正・平等の保障 ②相互信頼関係 ③医療情報と守秘義務	〃	
11, 12	5/31 (金)	6, 7	移住者にみる人権の尊重と倫理	諏訪栄治	
13, 14	6/7 (金)	6, 7	1. 医学・看護の研究における倫理 2. インターネット社会における倫理課題	片岡万里	
15	6/14 (金)	6	課題2：発表	〃	

連絡先

片岡研究室 TEL/FAX：088-880-2538; e-mail:mkataoka@kochi-u.ac.jp

テキスト

日本看護協会編：平成15年版 看護白書、p. 3-93, p217-235, 日本看護協会出版会, 2003.

参考文献

- 1) 坪倉繁美編：具体的なジレンマからみた看護倫理の基本, 医学芸術社, 2005.
- 2) 岡崎寿美子・小島恭子編：ケアの質を高める看護倫理 ジレンマを解決するために, 医歯薬出版株式会社, 2002.
- 3) サラ T. フライ著、片田範子、山本あい子訳：看護実践の倫理 倫理的意志決定のためのガイド、日本看護協会出版会, 2002.
- 4) シーア・コルボーン他著、長尾力訳：奪われし未来、翔泳社, 2004.
- 5) 清水靖子：森と魚と激戦地、北斗出版, 1997.

授業評価

課題と授業参加度

授業科目：ペアレンティング学（2単位）

学習目標:子どもの生命が尊重され、健やかに育つ社会を育成するために、Parenting Education について理解を深める。人間のライフサイクルの中で生命誕生から小児期、思春期の「将来の親」となる人、成人期、壮年期の「親となる過程」の人が抱える現代諸問題及び看護専門者としての次世代育成や家族支援の方法について追及する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.10.4	金	6	ペアレンティング学の概念 ペアレンティング・エデュケーションの定義	尾原	母性看護学（5階）の共同研究室
2	10.11	〃	6	現代家族の実態と諸問題	石上	
3	10.18	〃	6	変化する現代の家族1 社会の変化と子どもの環境1	植田	
4	10.25	〃	6	変化する現代の家族2 社会の変化と子どもの環境2	〃	
5	11.1	〃	6	ライフサイクルと家族の健康 家族看護学の基礎・家族看護学の動向	尾原	
6	11.8	〃	6	家族看護学における理論1 システム理論、家族役割・発達理論の活用	〃	
7	11.15	〃	6	家族看護学における理論3 家族ストレスと家族対処理論の活用	〃	
8	11.22	〃	6	家族看護の研究と実践	〃	
9	11.29	〃	6	母子関係の形成と課題	濱田	
10	12.6	〃	6	女性のライフサイクルと家族の健康	〃	
11	12.13	〃	6	思春期の特徴と課題	池内	
12	12.20	〃	6	母子の心理・社会をめぐる諸問題	小松	
13	26.1.10	〃	6	親子関係の作り方1 Parenting Education Training 1	尾原	
14	1.17	〃	6	親子関係の作り方2 Parenting Education Training 2	〃	
15	1.24	〃	6	事例の分析とまとめ	尾原	

授業科目：看護英語（2単位）

到達目標：看護及び医療に関する研究論文について数多く購読し、グローバルな視点を持ちながら、基本的な医学・看護用語の習得と基礎的な英語読解力を強化し、自らの専門領域の英語論文を読みこなす力をつける。また、修士論文研究作成に必要な英語力全般の能力を培う。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	H25.10. 4	金	7	Developments in the world	植田 味佐	小児看護学（5階）の共同研究室
2	10. 11	〃	〃	〃	〃	
3	10. 18	〃	〃	〃	〃	
4	10. 25	〃	〃	〃	〃	
5	11. 1	〃	〃	〃	〃	
6	11. 8	〃	〃	〃	〃	
7	11. 15	〃	〃	〃	〃	
8	11. 22	〃	〃	〃	〃	
9	11. 29	〃	〃	〃	〃	
10	12. 6	〃	〃	〃	〃	
11	12. 13	〃	〃	〃	〃	
12	12. 20	〃	〃	〃	〃	
13	1. 10	〃	〃	〃	〃	
14	1. 24	〃	〃	〃	〃	
15	1. 31	〃	〃	〃	〃	

教科書及び参考書等

- 1) www.voanews.com/specialenglish/
- 2) Longman Dictionary of Contemporary English

授業科目：看護教育・管理学特論Ⅰ（2単位）

学習目標：看護教育学とは何か、歴史や社会背景をふまえて考察するとともに、看護学教育制度や看護教育方法について理解する。また、看護の質を向上するための看護継続教育の取り組みについてその課題を検討し明らかにする。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.4.11	木	6	看護教育学の概念	坂本	基礎看護学（3階）の共同研究室
2	〃	〃	7	看護教育学の歴史の変遷	〃	
3	4.18	〃	6	看護学教育制度の成り立ちと特徴1	〃	
4	〃	〃	7	看護学教育制度の成り立ちと特徴1	〃	
5	4.25	〃	6	看護教育課程論1	野村	
6	〃	〃	7	看護教育課程論2	〃	
7	5.2	〃	6	看護教育学組織運営論1	〃	
8	〃	〃	7	看護教育学組織運営論2	〃	
9	5.16	〃	6	看護学教育授業展開論1	岡田	
10	〃	〃	7	看護学教育授業展開論2	〃	
11	5.23	〃	6	生涯教育と看護継続教育論1	坂本	
12	〃	〃	7	生涯教育と看護継続教育論2	〃	
13	5.30	〃	6	看護教育方法論（プレゼンテーション）	坂本 野村・岡田	
14	〃	〃	7	看護教育方法論（プレゼンテーション）	〃	
15	6.6	〃	6	まとめ	〃	

授業科目：看護教育・管理学特論Ⅱ（2単位）

到達目標：

1. 看護管理の基本となる諸理論および看護管理過程のあり方を探求し、看護管理者に求められる役割と責務について理解する。
2. 看護管理をめぐる課題について探求し、それらの課題を解決するための方策を立案する。
3. 看護ケアに携わる人材の育成について、キャリアの概念を学び、組織における人材の育成と活用について実践事例を通して理解する。
4. リスクマネジメント、コンフリクトマネジメントについて学び、医療安全、医療の質の保証について理解する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.4.10	水	6	ガイダンス 看護管理の機能と役割	高橋永子	担当教員の指定する場所
2	〃	〃	7	組織行動のマネジメント（1）	〃	
3	4.17	〃	6	キャリア開発(人材育成)	池内和代	
4	〃	〃	7	組織行動のマネジメント（2）	高橋永子	
5	4.24	〃	6	看護管理論と組織変革の理論	森木妙子	
6	〃	〃	7	業務改善の手法	森木妙子	
7	5.01	〃	6	組織運営と人材育成の実際	宮井千恵	
8	〃	〃	7	組織運営と人材育成の実際	〃	
9	5.08	〃	6	看護職の経営参画	森木妙子	
10	〃	〃	7	経営意識・コスト意識の重要性	〃	
11・12	5.15	〃	6・7	医療過誤訴訟の現状と課題	高橋永子 金平克也 弁護士	
13	5.22	〃	6	コンフリクトマネジメント(1)	高橋永子	
14	5.22	〃	7	コンフリクトマネジメント(2)	〃	
15	5.29	〃	6	看護管理をめぐる課題	〃	

参考書：

1. 看護管理学習テキスト（全8巻・別巻）、日本看護協会出版会、2009.
2. Stephen P. Robbins 高木晴夫訳：組織行動のマネジメント、ダイヤモンド社、2006.
3. 中西睦子：看護サービス管理 第3版、医学書院、2009.
4. P・ハーシー 山本成二役：行動科学の展開—人的資源の活用—、生産性出版、2006.
5. Edgar H. Schein 二村敏子訳：キャリア・ダイナミクス、白桃書房、2000. .
6. 見藤隆子他：看護職者のための政策過程入門、日本看護協会出版会、2007.

授業科目：看護教育・管理学演習（2単位）

到達目標：

1. 看護教育・管理学分野における課題について、文献レビュー・議論を通して今日的課題を明確にする。
2. 問題解決型の演習により、自己の研究課題を明確にし、研究計画書を作成する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	25.10.02	水	6・7	看護管理学研究の現状分析と課題の探求	高橋永子	担当教員の指定する場所
3・4	10.09	〃	〃	看護教育学の現状分析と課題の探求	坂本雅代	
5・6	10.16	〃	〃	生涯教育・人材育成の現状分析と課題の探求	坂本雅代	
7・8	10.23	〃	〃	看護組織運営の現状分析と課題の探求	高橋永子	
9・10	10.30	〃	〃	看護実践に関するタイムマネジメントにおける現状分析と課題の探求	森木妙子	
11・12	11.06	〃	〃	臨床における看護研究と看護管理者に求められるもの	森木妙子	
13・14	11.13	〃	〃	研究計画書の作成 (1)	高橋永子 坂本雅代 森木妙子	
15・16	11.20	〃	〃	研究計画書の作成 (2)		

*授業の進め方

授業内容、スケジュールについては、学生の希望を考慮し、変更する場合があります。

参考図書

1. 舟島なおみ：看護教育学研究—発見・創造・証明の過程、医学書院、2002.
2. 杉森みど里他：看護教育学、医学書院、2005
3. Kathleen R 他 杉森みど里監訳、エビデンスに基づく看護教育学、医学書院、2003
4. グレグ美鈴他：看護教育学、南江堂、2009
5. Stephen P. Robbins 高木晴夫訳：組織行動のマネジメント、ダイヤモンド社、2009.
6. Paul Hersey 山本成二：行動科学の展開—人的資源の活用—生産性出版、2006.
7. 松下博宣：続看護経営学、日本看護協会出版会、2006.
8. 看護管理学習テキスト（全8巻・別巻）、日本看護協会出版会、2011.

授業科目：保健医療情報学演習（2単位）

到達目標：保健医療情報の特性を理解する。

看護教育・看護管理の研究における対象の情報表現法を修得する。

保健医療情報を分析する手法を修得する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.10.03	木	6	情報学視点からの保健医療研究論	栗原幸男	看護学科棟 保健指導室 (2階)
2・3	未定*		6・7	保健医療情報の特性		
4・5	〃	〃	〃	看護教育・看護管理の研究における対象の情報（データ）表現	〃	
6・7	〃	〃	〃	看護教育・看護管理における研究対象の情報（データ）表現演習	〃	
8・9	〃	〃	〃	保健医療情報の分析手法	〃	
10・11	〃	〃	〃	保健医療情報の分析方法の各自の研究課題への応用演習（1）	〃	
12・13	〃	〃	〃	保健医療情報の分析方法の各自の研究課題への応用演習（2）	〃	
14・15	〃	〃	〃	総括	〃	

*：2回目以降の授業日は履修学生と相談する。

参考図書：

1. Marion J. Ball, Kathryn J. Hannah, Susan K. Newbold and Judith V. Douglas. Health Informatics: Nursing Informatics. Springer.
2. 日本医療情報学会医療情報技師部会. 医療情報 医療情報システム編. 篠原出版新社.
3. Rita D. Zielstorff (編)、西垣 克 (監訳). 看護とコンピュータ. 医歯薬出版.
4. ハーバート A サイモン著、稲葉元吉・吉原英樹訳. システムの科学. パーソナルメディア.

授業科目：成人・老人看護学特論 I（2単位）

- 到達目標：1) M・キングの Transaction Theory に基づき人間と環境を捉え、ヘルスプロモーションについて学ぶ。
 2) 環境（生活習慣）及び遺伝と健康について理解する。
 3) 成人期における健康障害の現状について学習し、疾病の自己管理や QOL としての健康について学ぶ。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	6.14	金	7	栄養サポートチーム(NST)の役割	溝渕 俊二	成人看護学講座成人看護学共同研究室(7階)
2	6.21	〃	6	静脈・経腸栄養療法について	溝渕 俊二	
3	6.21	〃	7	栄養療法実践のための症例検討	溝渕 俊二	
4	6.28	〃	6	慢性疾患と共に生活する人への看護 (1)	高橋 永子	
5	6.28	〃	7	慢性疾患と共に生活する人への看護 (2)	高橋 永子	
6	7.5	〃	6	危機状況にある患者の看護 (1)	高橋 永子	
7	7.5	〃	7	危機状況にある患者の看護 (2)	高橋 永子	
8	7.12	〃	6	がん看護 (1)	山脇 京子	
9	7.12	〃	7	がん看護 (2)	山脇 京子	
10	7.19	〃	6	ターミナルケア (1)	青木 早苗	
11	7.19	〃	7	ターミナルケア (2)	青木 早苗	
12	7.26	〃	6	精神面からとらえた健康	高橋 美美	
13	7.26	〃	7	環境保健の動向	田口 徹也	
14	8.2	〃	6	高齢者を看護ケアする新人看護師のリアリティショック	川崎 綾	
15	8.2	〃	7	進化医学	吾妻 健	

参考書：分子予防環境医学 分子予防環境医学研究会 編 本の泉社
 ストレスの心理学、リチャード・S・ラザルス他著 実務教育出版、1991年初版
 ジュリア・B・ジョージ、訳南裕子他、看護理論集、増補改訂版 ーより高度な看護実践のためにー 日本看護協会出版会、1998

授業科目：成人・老人看護学特論Ⅱ（2単位）

学習目標：地域で治療あるいは療養する成人・高齢者を対象にして、その家族への援助を含めて QOL を維持、向上するための支援について、施策とケアの側面から教授し、健康を障害した成人高齢者が社会で共生できるためのシステムの構築について議論します。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.6.5	水	6	生活習慣と健康(1)	高尾俊弘	地域看護学共同研究室（4階）又は老年看護学共同研究室（6階）
2	〃	〃	7	生活習慣と健康(2)	〃	
3	6.12	〃	6	生活習慣と健康(3)	〃	
4	〃	〃	7	在宅療養と居住環境（1）	藤田晶子	
5	6.19	〃	6	在宅療養と居住環境（2）	〃	
6	〃	〃	7	在宅療養と居住環境（3）	〃	
7	6.26	〃	6	高齢者とその家族の QOL について（1）	片岡万里	
8	〃	〃	7	高齢者とその家族の QOL について（2）	〃	
9	7.3	〃	6	高齢者とその家族の QOL について（3）	〃	
10	〃	〃	7	成人と健康(1)	齋藤美和	
11	7.10	〃	6	成人と健康(2)	〃	
12	〃	〃	7	成人と健康(3)	〃	
13	7.17	〃	6	在宅高齢者の現状と課題	杉本加代	
14	〃	〃	7	在宅療養を支える看護	小笠原木綿	
15	7.24	〃	6	高齢者の看護	林 昌子	

授業科目：成人・老人看護学演習（１）（４単位）

到達目標：本科目では、人間・健康・環境・看護に関するグローバルな検討及び思索を行い、専門看護職者としての看護支援に関する職能の向上に寄与する。演習では看護支援のあり方について文献講読及び事例検討を行い、看護実践場面における問題解決能力・マネジメント能力を拡充させる。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	25.10.2	水	6・7	文献講読・事例検討（１）	吾妻 健	看護学科棟 7階・成人看護学共同研究室
3・4	25.10.16	〃	6・7	文献講読・事例検討（２）	高橋永子	
5・6	25.10.30	〃	6・7	文献講読・事例検討（３）	溝渕俊二	
7・8	25.11.13	〃	6・7	文献講読・事例検討（４）	高橋永子	
9・10	25.11.27	〃	6・7	文献講読・事例検討（５）	山脇京子	
11・12	25.12.11	〃	6・7	文献講読・事例検討（６）	山脇京子	
13・14	26.1.08	〃	6・7	文献講読・事例検討（７）	青木早苗	
15・16	26.1.22	〃	6・7	文献講読・事例検討（８）	高橋美美	

参考書：精神分裂病急性期の患者に対する看護ケアの意味とその構造、萱間真美、看護研究、24（5）、59-77（1991）

授業科目：成人・老人看護学演習（2）（4単位）

学習目標：特論で得た、地域で治療あるいは療養する成人・高齢者とその家族のQOLを高める施策と看護の側面から支援に関する知識を活用して、文献の講読及び批評を行う。また、これらの知識を施設及び地域の実践の場で展開し、実践能力を養う。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	25.10.3	木	6・7	認知症高齢者のケアに関する文献講読・プレゼンテーション	片岡万里	地域看護学共同研究室（4階） 又は老年看護学共同研究室（6階）
3・4	10.10	〃	〃	生活習慣病文献講読・プレゼンテーション	高尾俊弘	
5・6	10.17	〃	〃	在宅看護に関する文献講読・プレゼンテーション	藤田晶子	
7・8	10.24	〃	〃	成人の健康に関する文献講読・プレゼンテーション	齋藤美和	
9・10	10.31	〃	〃	地域在住高齢者に関する文献講読・プレゼンテーション	杉本加代	
11・12	11.7	〃	〃	研究テーマ関連文献講読・プレゼンテーション	小笠原木綿	
13・14	11.14	〃	〃	文献講読・プレゼンテーション	林 昌子	
15	11.28	〃	〃	生活習慣病文献講読・まとめ	高尾俊弘	

授業科目：母子看護学特論Ⅰ（2単位）

学習目標：あらゆる世代の女性及び子どもと家族の健康増進のための課題を探求し明確にする。時代の変化及び日本の歴史的背景・文化、諸理論の理解を基に母性と子どもの課題の具体的な支援のあり方を追求する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.4.9	火	7	オリエンテーション 女性及び子どもと家族の環境	尾原	母性看護学共同研究室
2	4.16	〃	7	女性の健康に関する主要な概念と理論	濱田	
3	4.23	〃	7	現代の母子保健の現状と課題	池内	
4	4.30	〃	7	カウンセリングとコンサルテーション1 (総論)	石上	
5	5.7	〃	7	カウンセリングとコンサルテーション2	〃	
6	5.14	〃	7	カウンセリングとコンサルテーション3	〃	
7	5.21	〃	7	母子保健の仕組みと意義、 母子保健活動の現状と動向	小松	
8	5.28	〃	7	日本の少子化現象とその対策	村上	
9	6.4	〃	7	現代の子どもの特徴と課題1	尾原	
10	6.11	〃	7	現代の子どもの特徴と課題2	〃	
11	6.18	〃	7	子どもと家族を理解するための理論1	〃	
12	6.25	〃	7	子どもと家族を理解するための理論2	〃	
13	7.2	〃	7	生命倫理の展開と課題1	〃	
14	7.9	〃	7	生命倫理の展開と課題2	〃	
15	7.16	〃	7	生命倫理の展開と課題3・総括	〃	

授業科目：母子看護学特論Ⅱ（2単位）

学習目標：母子の生活における QOL の向上を目指した看護の基礎的検討を行う。母子の自律や自己決定や療養における諸症状や反応について検討し、セルフケアにおける課題の抽出や倫理等について理解を深める。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.4.9	火	6	Current topics in pediatric maternal nursing	植田咏佐	臨床看護学講座・小児看護学共同研究室（5階）
2	4.16	〃	〃	〃	〃	
3	4.23	〃	〃	〃	〃	
4	4.30	〃	〃	〃	〃	
5	5.7	〃	〃	〃	〃	
6	5.14	〃	〃	〃	〃	
7	5.21	〃	〃	〃	〃	
8	5.28	〃	〃	〃	〃	
9	6.4	〃	〃	〃	〃	
10	6.11	〃	〃	〃	〃	
11	6.18	〃	〃	〃	〃	
12	6.25	〃	〃	〃	〃	
13	7.2	〃	〃	〃	〃	
14	7.9	〃	〃	〃	〃	
15	7.16	〃	〃	〃	〃	

授業科目：母子看護学演習（1）

学習目標：母子看護学、小児看護学における重要課題、母子保健の現状と課題を中心に基礎的・応用的に文献を読み先行研究のクリティークや事例を分析しながら研究法の基礎を修練し、事故の研究課題を明確にしながら研究計画の作成をする。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.10. 8	火	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田咏佐	母 性 看 護 学 共 同 研 究 室 （ 5 階 ）
2	10.15	〃	〃	〃	〃	
3	10.22	〃	〃	〃	〃	
4	10.29	〃	〃	〃	〃	
5	11. 5	〃	〃	〃	〃	
6	11.12	〃	〃	〃	〃	
7	11.19	〃	〃	〃	〃	
8	11.26	〃	〃	〃	〃	
9	12. 3	〃	〃	〃	〃	
10	12.10	〃	〃	〃	〃	
11	12.17	〃	〃	〃	〃	
12	12.24	〃	〃	〃	〃	
13	26.1. 7	〃	〃	〃	〃	
14	1.14	〃	〃	〃	〃	
15	1.21	〃	〃	〃	〃	

授業科目：母子看護学演習（2）

学習目標：母子看護学、小児看護学における重要課題、母子保健の現状と課題を中心に基礎的・応用的に文献を読み先行研究のクリティークや事例を分析しながら研究法の基礎を修練し、事故の研究課題を明確にしながらか研究計画の作成をする。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	25.10. 8	火	7	オリエンテーション 母子及び家族に関する研究の概要	尾原	母性看護学共同研究室
2	10.15	〃	〃	母性看護学領域における研究の動向	村上	
3	10.22	〃	〃	小児看護学領域における研究の動向、	尾原	
4	10.29	〃	〃	看護研究方法の検討2（量的研究）	濱田	
5	11. 5	〃	〃	看護研究方法の検討1（質的研究）	池内	
6	11.12	〃	〃	母性看護研究のクリティーク	濱田	
7	11.19	〃	〃	小児看護研究のクリティーク	尾原	
8	11.26	〃	〃	助産学に関する研究のクリティーク	小松	
9	12. 3	〃	〃	助産学に関する研究のクリティーク母	石上	
10	12. 10	〃	〃	研究計画書の作成1	尾原	
11	12.17	〃	〃	研究計画書の作成2	〃	
12	12.24	〃	〃	研究計画書の作成3	〃	
13	26.1. 7	〃	〃	研究計画書のプレゼンテーション1	〃	
14	1.14	〃	〃	研究計画書のプレゼンテーション2	〃	
15	1.21	〃	〃	研究計画書の修正・まとめ	〃	

授業の進め方：ゼミナール形式

（学生自身がプレゼンテーションし、その内容に基づいて討論し学習を深める。授業内容スケジュールについては、学生の希望及び状況により漸次修正する。）

授業科目：助産学特論（1単位 15時間）

- 学習目標： 1.助産実践の基盤となる概念及び理論と、周産期の母子と家族の健康増進を促すための Evidence-Based-Midwifery（以下 EBM とする）の方法論、および援助の開発やその効果の検証方法について理解する。
- 2.助産実践の基盤となる概念及び理論を基に助産に関わる現象や対象者の理解を深めるためのアセスメント能力を高め、助産実践への適応を探求する。

評価方法：試験・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13.4.9	火	2	助産の概念 リプロダクティブヘルス/ライツ	尾原	大学院ゼミ室1（6階）
2	13.4.9	火	3	助産と倫理	尾原	
3	13.4.9	火	4	助産の歴史 助産師教育の変遷	池内	
4	13.5.17	金	3	助産診断・技術学の概要 I	池内	
5	13.5.29	水	4	助産診断・技術学の概要 II	池内	
6	13.6.11	火	3	助産診断過程 I	小松	
7	13.6.24	月	4	助産診断過程 II	小松	
8	13.7.22	月	2	評価	池内	

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座1・5・6 医学書院 助産師基礎教育テキスト1 日本看護協会出版会	助産学研究入門 WHO 勧告に見る望ましい周産期ケアとその根拠 WHO の 59 カ条お産のケア実践ガイド 助産師の意思決定 EBM 楽しい演習帳 実践マタニティ診断 バース・リボーン—よみがえる出産—

授業科目：ウイメンズヘルス論（1単位15時間）

- 学習目標： 1. 性/生殖に関わる身体の構造と機能を理解する。
 2. 女性のライスカイクル各期の特徴と健康問題を理解する。
 3. 性/生殖の健康リスク回避行動の支援に必要な知識を習得する。

評価方法：試験・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13.4.10	水	2	性/生殖に関する解剖と生理 I	溝渕	大学院ゼミ室1（6階）
2	13.4.11	木	3	性/生殖に関する解剖と生理 II	溝渕	
3	13.4.16	火	2	女性のライフサイクル各期の特徴	濱田	
4	13.4.18	木	2	女性のライフサイクル各期に起こる主な疾患	溝渕	
5	13.4.23	火	2	セクシュアルヘルスケア I（家族計画の概要）	濱田	
6	13.5.7	火	2	セクシュアルヘルスケア II（避妊の原理と方法）	濱田	
7	13.5.14	火	2	セクシュアルヘルスケア III（個別相談と健康教育）	濱田	
8	13.7.23	火	2	試験	濱田	

受胎調節実地指導員講習に読替え

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座2・3・4・5 医学書院 助産師基礎教育テキスト2・6 日本看護協会 出版会 木村好秀ほか：家族計画指導の実際 医学書院	新・受胎調節指導用テキスト 生涯人間発達学 女性の生涯発達とアイデンティティ 助産師業務要覧

濱田一水木以外、時間指定なし

授業科目：助産診断・技術学基礎（1単位15時間）

- 学習目標： 1. 生殖に関する要因として、感染・遺伝・免疫・について学ぶ。
 2. 周産期の母子に関わる臨床検査（CTG・超音波等）について学ぶ。
 3. 周産期に関する薬剤について学ぶ。

評価方法：試験・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13.4.25	木	2	周産期の主な感染症、予防接種、母子感染	溝渕	母性看護学実習室（5階） 大学院ゼミ室1（6階）
2	13.5.15	水	2	免疫のしくみ・周産期の免疫学的特性 I	吾妻	
3 ～4	13.5.16	木	3 4	周産期に関する検査（超音波・CTG） 胎児心拍数モニタリングの判読 周産期に関する薬剤（分娩期）	乾	
5	13.5.22	水	2	免疫のしくみ・周産期の免疫学的特性 II	吾妻	
6	13.5.29	水	2	遺伝のしくみ・遺伝子、染色体の異常 I	吾妻	
7	13.6.13	木	3	周産期に関する薬剤（妊娠期・産褥期）	宮村	
8	13.7.26	金	2	評価	池内	

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座2・3・6・7・8 医学書院 助産師基礎教育テキスト4 日本看護協会出版会 荒木 勤：最新産科学（正常編）文光堂	プリンシプル産科婦人科学 第2版 増崎 英明：臨床産科超音波診断 メディカ出版 藤森 敬也：胎児心拍数モニタリング講座 メディカ出版

授業科目：助産診断・技術学特論Ⅰ（1単位15時間）

学習目標： 1. 妊娠・分娩・産褥、新生児の生理的経過とケアを理解する。
2. 周産期の母子の健康に関わる栄養について学ぶ。

評価方法：試験・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13.4.15	月	3	妊娠の生理Ⅰ	池内	大学院ゼミ室1 (6階)
2	13.4.18	木	3	母子の栄養と運動(歯科保健)	杉本	
3	13.4.19	金	3	妊娠の生理Ⅱ	池内	
4	13.4.22	月	3	妊婦のケアⅠ	池内	
5	13.5.7	火	3	妊婦のケアⅡ	池内	
6	13.6.10	月	3	正常産褥の生理	石上	
7	13.6.17	月	3	正常新生児の生理	石上	
8	13.7.24	水	2	評価	池内	

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座2・6・7・8 医学書院 助産師基礎教育テキスト4・5・6 日本看護協会 出版会 荒木 勤：最新産科学(正常編) 文光堂 実践マタニティ診断第2版 日本看護診断・実践研 究会 医学書院	プリンシプル産科婦人科学 第2版 病気が見える Vol.10 産科 第2版

授業科目：助産診断・技術学特論Ⅱ（1単位15時間）

学習目標：1. 助産過程の展開を通して、経過の診断・予測及び正常逸脱の判断ができる能力を養う。
2. 多様な分娩介助技術の原理と方法を理解する。

評価方法：試験・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13.5.13	月	3	分娩の生理Ⅰ	小松	母性看護学実習室（5階） 大学院ゼミ室1（6階）
2	13.5.15	水	4	分娩の生理Ⅱ	小松	
3	13.5.20	月	3	産婦のケア	小松	
4	13.5.24	金	2	出生直後の新生児のケア（観察と診断）	小松	
5	13.5.27	月	3	分娩介助法（フリースタイル分娩）	小松	
6	13.6.26	水	3	乳幼児の成長発達Ⅰ	尾原	
7	13.7.10	水	3	乳幼児の成長発達Ⅱ	尾原	
8	13.7.26	金	2	評価	小松	

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座3・6・7・8 医学書院 助産師基礎教育テキスト4・5・6 日本看護協会出版会 荒木 勤：最新産科学（正常編） 文光堂 実践マタニティ診断第2版 日本看護診断・実践研究会 医学書院 仁志田 博司：新生児学入門第3版 医学書院	プリンシプル産科婦人科学 第2版 母乳育児支援ガイド 母乳育児支援スタンダード 新生児蘇生法テキスト 体位別フリースタイル分娩一回旋がわかる 助産師のためのフィジカル イグザミネーション 進 純郎：分娩介助学 医学書院

授業科目：助産診断・技術学演習（3単位 90時間）

- 学習目標： 1. 周産期の母子の健康状態と成長・発達を診断し、異常との識別ができる能力を養う。
 2. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の正常経過を促進し女性の意思を尊重した支援ができる能力を養う。
 3. EBM の方法論に基きケアを展開できる能力を養う。
 4. 母子相互作用を高め、親役割を推進できるケアを提供できる能力を養う。
 5. 母乳哺育についての原理と方法を理解する。
 6. 補完代替療法について理解する。
 7. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の異常発生時の対応ができる能力を養う。
 （新生児蘇生、会陰縫合術及び超音波診断）
 8. 地域助産学実習より地域母子の実態を探り【助産道場】につなげる。

評価方法：演習評価・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13. 5. 13	月	4	妊婦診察技法	池内	
2	13. 5. 27	月	4	妊娠期の指導	池内	
3 ～4	13. 5. 30	木	3 4	会陰切開・裂傷縫合（2回/内医師1回）	乾	
5	13. 6. 3	月	3	骨盤計測技法	小松	
6	13. 6. 5	水	2	遺伝のしくみ・遺伝子、染色体の異常 II	吾妻	
7	13. 6. 6	木	3	超音波診断技法	乾	
8 ～14	13. 6. 25 ～ 8. 6	火	3	受胎調節実地指導演習 受胎調節実地指導演習（プレゼンテーション）	濱田	
15	13. 6. 27	木	3	褥婦・新生児のケア	石上	
16 ～17	13. 7. 8	月	3 4	乳房管理（母乳育児の原理と方法） 乳房管理の実際	石上	
18 ～19	13. 7. 11	木	3 4	新生児の観察 ベビーマッサージ・沐浴	石上	
20	13. 7. 16	火	2	乳腺疾患の見分け方	青木	
21	13. 7. 29	月	3	母子と補完代替医療	石上	

～22	(7.30)		4	産婦のケア（産痛緩和）（東洋医学・アロマ等）	
23～ 28	13.9.4 ～6			過疎地域体験演習	池内
29	未定			周産期の指導	石上
30～ 33	未定			新生児蘇生法(NCPR) 公認講習会参加 選択：専門コース(Aコース) 一次コース(Bコース)	
34～ 45	13.9.2 ～ 13.9.24		3 4	分娩介助演習・分娩介助演習チェック (9回) フリースタイル分娩 (1回) 演習チェック (2回)	小松
評価	未定			各演習評価の総合	小松 池内 石上

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座2・6・7・8 医学書院 助産師基礎教育テキスト2・4・5・6 日本看護協会出版会 仁志田 博司：新生児学入門第3版 医学書院 田村 正徳：新生児蘇生法テキスト メジカルビュー社 荒木 勤：最新産科学（正常編） 文光堂	プリンシプル産科婦人科学 第2版 体位別フリースタイル分娩一回旋がわかる 助産師のためのフィジカル イグザミネーション 進 純郎：分娩介助学. 医学書院 2008 増崎 英明：臨床産科超音波診断 メディカ出版 藤森 敬也：胎児心拍数モニタリング講座 メディカ出版

授業科目：周産期ハイリスク論（1単位 15時間）

学習目標： 1. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の異常について学ぶ。

2. 異常発生時の対応及びアセスメントとケアを展開できる能力を養う。

評価方法：試験・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13.5.8	水	4	ハイリスク妊娠のケア（DM・TPD・PIH）	池内	大学院ゼミ室1（6階）・母性看護学実習室（5階）
2	13.5.23	木	3	分娩期の異常 （巨大児・肩甲難産・CPD・遷延分娩・軟産道損傷等）	乾	
3	13.5.23	木	4	産褥期の異常 （子宮復古不全・血栓塞栓症・妊娠高血圧症候群 産褥期感染症 等）	乾	
4	13.6.7	金	3	分娩期の異常のケア	小松	
5	13.6.10	月	4	産褥期の異常のケア	石上	
6	13.6.17	月	4	新生児の異常のケア	石上	
7	未定		3	NICUとハイリスク新生児のケア	森本	
8	未定			評価	石上	

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座2・6・7・8 医学書院 助産師基礎教育テキスト4・5・6 日本看護協会 出版会 荒木 勤：最新産科学（異常編）文光堂	標準産科婦人科学（第3版）医学書院 標準小児科学（第7版）医学書院 プリンシプル産科婦人科学 第2版 メディカル ビュー社

授業科目：周産期医療システム論（1単位15時間）

- 学習目標： 1. 世界と日本の周産期医療の現状と体制を理解する。
 2. 周産期医療に関わる制度・政策の基礎的知識を習得する。
 3. 母子保健の課題について考えることができる。

評価方法：プレゼンテーション・GW参加度・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13.10.7	月	3	周産期医療体制・母子保健制度と母子保健施策 (日本の産科・新生児の現状、高知の現状)	福永	大学院ゼミ室1(6階)・医学部講義棟
2	13.10.16	水	4	周産期医療の現状(世界)	石上	
3	13.10.31	木	4	産期医療システムにおける助産師活動 (院内助産・助産師外来)	石上	
4	13.11.6	水	4	性暴力を受けた女性の看護(DV含)・子供虐待	石上	
5	13.11.7	木	4	地域医療計画と医療連携	阿波谷	
6	13.11.18	月	4	地域医療の現状	和久	
7	13.11.19	火	4	(GW)医療過疎地域での助産師活動を考察せよ ①専門技術者としての助産師の存在 ②都会と異なる活動 ③その他	石上	
8	13.11.22	金	4	評価(プレゼンテーション)	石上	

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座10 医学書院 助産師基礎教育テキスト3 日本看護協会出版会 助産師業務用覧 日本看護協会出版会	助産外来・院内助産所 計画・開設・運営マニュアル 臨床助産師必携－生命と文化をふまえた支援－

授業科目：母子精神病理学（1単位 15時間）

- 学習目標： 1. 女性のライフサイクルにおけるメンタルヘルスについての知識を習得する。
 2. 親子関係に関する精神病理の知識を習得し、親子の心の問題に対するアセスメントとケアを学ぶ。

評価方法：試験・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13. 4. 17	水	3	産前・産後の精神疾患（産前・産後のうつ病、産褥精神病、精神疾患合併妊娠等）	山崎	大学院ゼミ室1（6階）
2	13. 4. 17	水	4	女性のライフサイクルとメンタルヘルス（摂食障害、パニック障害、PMS、DV等）	山崎	
3～4	13. 5. 9 13. 5. 20	木 月	2 2	不妊症・不育症治療および治療後の心理的問題 家族を含めた支援と他機関との連携 GW「出生前診断を考える妊婦の意思決定過程を支援」 プレゼンテーション	関	
5	13. 5. 22	水	3	親子関係をめぐる問題（母子・父子関係）	澤田	
6	13. 5. 22	水	4	親子関係をめぐる問題（児童虐待）	澤田	
7	13. 6. 17	月	2	ペリネイタルロスとグリーフケア（流産・死産の悲嘆反応、子供の喪失を含む）	小松	
8	13. 7. 29	月	2	評価	小松	

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座4・6・7 医学書院 助産師基礎教育テキスト4・5・6 日本看護協会出版会 新道 幸恵他：母性の心理社会的側面と看護ケア 医学書院	親と子のきずな 親と子のきずなはどうつくられるか 母子関係の理論 母と子のアタッチメントー心の安全基地ー 母子と家族への援助 母子臨床と世代間伝達 赤ちゃんの死を前にして

授業科目：コンサルテーション論（1単位15時間）

- 学習目標： 1. 健康問題の解決や健康課題の達成に必要な知識を学ぶ。
 2. 指導者としてカウンセリングやコーチングなどのコミュニケーションスキルを学ぶ。
 3. 健康教育の運営方法を学び、実践する。

評価方法：プレゼンテーション・提出物・GW参加度・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13.4.12	金	4	助産師の行う相談・教育・援助の基本	石上	大学院ゼミ室1（6階）および 母性看護学共同研究室（5階）
2	13.4.15	月	4	健康教育の実際（展開・企画立案・運営・評価）	石上	
3	13.4.22	月	4	指導の実際（集団指導・個別指導）	石上	
4	13.5.10	金	4	指導の実際（出生前教育と育児指導）	石上	
5	13.5.13	月	2	指導の実際（GW・プレゼンテーション）	石上	
～ 6	13.6.24	月	2	①母子愛着生成の障害・児の虐待ハイリスク要因を発見し支援する。 ②思春期のセクシュアリティ発達を支援する ③月経障害の緩和と生活支援をする（思春期）	石上	
7	13.6.27	木	4	指導の実際（周産期の指導作成）	石上	
8	13.9.2	月	2	評価（発表）	石上	

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座5 医学書院 助産師基礎教育テキスト4 日本看護協会出版会	カウンセリングとコンサルテーション 辻村英夫 産む力の咲かせ方 出産準備クラスにおけるエンパワーメント

授業科目：地域母子保健診断学（1単位 15時間）

- 学習目標： 1. 地域社会で生活する母子と家族の健康を支援するために必要な知識を習得する。
 2. 他の職種や組織との連携及びセルフヘルプグループへの支援について理解する。
 3. 体外環境要因として汚染物質についてその作用と母子の健康に及ぼす影響について学ぶ。
 4. 国際化時代の地域母子保健を学ぶ。
 5. 周産期の母子の安全確保に向けた情報ネットワーク構築を学ぶ
 6. 母子保健に関する助産師の役割について学び、助産道場につなげる。

評価方法：プレゼンテーション・GW参加度・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	13. 10. 7	月	2	国際化時代の地域母子保健	石原	大学院ゼミ室1（6階）
2	13. 10. 7	月	3	母子保健活動の展開	齋藤	
3	13. 10. 9	水	4	周産期と喫煙・国際化社会の看護	石上	
4	13. 10. 18	金	4	周産期と生活環境（環境汚染・電磁波・放射線等）	石上	
5	13. 11. 8	金	4	情報ネットワークの構築（高知の周産期医療）	栗原	
6	13. 11. 11	月	2	母子保健行政と関係法規	高尾	
7	13. 11. 11	月	3	GW：地域における助産師の役割（助産道場）	池内	
8	13. 11. 18	月	4	評価（プレゼンテーション）	石上	

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座1・3・9 医学書院 助産師基礎教育テキスト1 日本看護協会出版会 母子の主なる統計2010 母子保健事業団 わが国の母子保健 平成23年 母子保健研究会	助産師業務用覧 臨床助産師必携－生命と文化をふまえた支援－

授業科目：助産管理学（2単位 30時間）

学習目標： 1. 助産業務管理のための原理と方法について学び、EBMに基づく女性の意思を尊重した支援の在り方を迫及する。

2. プロポーザルの知識を深め、組織改革、政策提案できる能力を養う。

3. 周産期に関する法的責任を学び、自立した専門職としての役割を追求する。

4. 災害時の助産管理を学ぶ。

5. 周産期における助産師の役割が熟考でき、卒業後の【周産期医療人材育成プログラム】への参加意欲を高める。

6. 管理実習（対象：医療機関、助産所より選択）

助産実践の場における助産管理の実際に対する考察を通して、場の特性に応じた管理を行う能力や、多職種の協働及び保健・医療・福祉等の関連機関の連携に必要な調整を行う能力を養う。

評価方法：プレゼンテーション・ディスカッション参加度・出席状況

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1 ～2	13. 4. 11	木	6	看護管理の機能と方法	高橋 母子看護学 特論読替	大学院ゼミ室1（6階）
3 ～4	13. 5. 30	木	6 7	医療過誤訴訟の現状と今後の見通し	金平 母子看護学 特論読替	
5 ～6				助産管理の実際 菊池産婦人科	池内	
7	13. 10. 9	水	3	助産管理と関係法規	池内	
8	13. 10. 16	水	3	周産期の医療事故とリスクマネジメント	池内	
9 ～10	13. 10. 31 13. 11. 6	木 水	3 3	災害時の助産管理	池内	
11	未定			病院における助産業務管理	公文	

12 ～14	13. 8. 1 13. 8. 2	木 金		助産所管理の実際（助産所見学） 助産所における助産業務管理 （助産サービスの評価・診療報酬）	眞鍋 池内	
15	13. 11. 13	水	3	プレゼンテーション	池内	

テキスト	参考書・参考文献
助産学講座10 医学書院 助産師基礎教育テキスト3 日本看護協会出版会 助産師業務要覧 日本看護協会出版会	臨床助産師必携－生命と文化をふまえた支援－